

生涯にわたる 人格形成の基礎を培う幼児教育

学校教育課通信

令和5年 3月28日 第187号
編集・発行：県南教育事務所 鈴木正和

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育

県南教育事務所といたしましても、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を「重点施策」の一つとして掲げています。各幼稚園・認定こども園の先生方には、計画訪問・要請訪問に留まらずスタートアップ研修（10件）・スキルアップ研修（9件）を活用いただき、「保育の質の向上」と「幼小連携の取組の推進」に向けた研修支援を行ってまいりました。

年度始めの幼教研総会では、幼児期における資質・能力を育成すること、そのために、「子どもの『心の指さし-興味関心の対象や方向、強さ-』をつぶさに見取り、育てていくこと」を確認してきました。

訪問を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う保育の実際に学ぶことができました。主体性もその一つです。幼児理解に基づく環境構成・教師の働きかけの工夫の一端を紹介します。これらの工夫が全て・万能ではありません。きっと、各園でさまざまな保育の充実が図られていたことと思います。園や幼児の実態に応じて工夫し続けることをこれからも大事にしたいですね。



指さしの意味・価値

指さしを引き出す

- 「ねえ、見て」「あれなあに？」
子どもの心の動き（興味、発見、驚き等）を一緒に楽しめる自分でいたい。
- そのために…

【4月13日幼教研総会講話資料より】

主体的な活動としての遊びの充実を支援する環境構成の工夫

ぴかぴかのどろだんごにしたいな。どうしたらいいのかな？

友達のどろだんごはどんなかな？見てみよう。聞いてみよう。

砂場の近くにあったらすぐ見られる！

絵本で読んだどろだんごをつくりたいんだ！



【憧れと似て非なるどろだんごを並べて】



【あの本が近くにあったらいいのになー外でも使える絵本ー】

高いの、低いの、どっちにしようかな？ボールにタッチしたい！

どうしたら高い方にもとどくかな？

雨の日でもできるよ！



【ベランダに吊り下げたボール-チャレンジの日常化-】



【思わず探しに行きたくなる掲示物】

近くに／似て非なるもの／見えること・見えないこと を並べると…

→ 比べて考えたり、繰り返し試したりする姿、

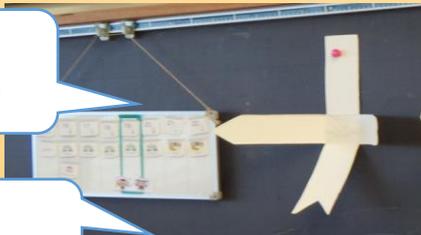
「おもしろそう!」「もっとよりよくしたい!」といった主体的な活動を引き出していました。

主体的な活動としての遊びの充実を支援する教師の働きかけの工夫

やってみて!—思いをもてる提示の工夫—

僕、もようをかきたいな!

楽しみ!
早くやりたい!



【思いのふくらむ提示】

-幼児の視界に入る前面はすっきりと(1月こまつくり)-

必要に応じて材料の補充・提示をしたり、イメージに合った素材を一緒に考えたりする



【先生、ここ押さえてね】



【試行錯誤を保障する材料ワゴン】

できた作品や工夫して遊んでいる姿を認め・褒め、幼児の自信につなげたり、幼児同士が刺激し合ったりできるようにする

どんなふうになりたいの?



短くしたらどんなふうに戻るかな?

【遊びの発展の方向を知る】

見せて見せて!



〜くんは、こんなふうに(こんな思いで)つくったんだって!

どうやったの?

【友達のよさに気づくことができるように促す働きかけ】

あえてサンプルは作らず、その子のイメージをもてるように待ったり製作を励ましたりする



うわあ、おもしろいね!

つくっては試し、を繰り返す場所と時間の確保 作り続けることも試すことも許容し、待ち、励ますこと



もっと長くまわるようにしたいんだ!



軸をつけたらどうなるかな? よく回るかな?

上手になったね!

見ててね!

いっしょにやろうよ!



【いつでも試すことができる】

幼児自らが身近な環境に主体的に関わり、試行錯誤したり考えたりすることができるように教師が援助すると...

→ 比べて考えたり、繰り返し試したりする姿、遊びを発展させたり、新しい遊びを創り出したり「おもしろそう!」「もっとよりよくしたい!」といった主体的な活動を引き出していました。

このように、幼稚園・認定こども園の先生方は、幼児理解に基づき、環境構成をしったり働きかけたりして主体的な活動としての遊びや生活の充実を日々図っています。「環境を通しての教育」「遊びを通して資質・能力を育てる」ということの共通理解が図られ、園内研修に取り組まれているからこそです。

幼稚園教育等において育みたい資質・能力を育てていくことです

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるように なったりする

思考力、判断力、表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする



遊びを通して育ちます



安心してのびのびと動いたり、自分の思いを出したりすることが、園生活の基礎です。



興味や関心に沿って、いろいろな遊具や道具などを使って遊びます。



先生や友達、地域の人など多様な人と関わる経験をします。

幼児一人一人が未来の創り手に —幼児教育 Q&A—(2020)より

このようにして幼児教育において培われた資質・能力を、小学校、中学校とつないでいきたいものです。

さて、幼児教育を終えた子ども達がいよいよ来月入学します。受け継ぐ小学校の先生方に、この時期お願いしたいことがあります。それは、「スタートカリキュラムの確認・充実」です。スタートカリキュラムは、幼児教育で育まれた、考えたり試したり工夫したりする姿(資質・能力)を確実につなぐ環境構成の一つです。

「幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、小学校1年生から主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができているか、まだできていないのであれば、スタートカリキュラムをどのように改善すればよいか、検討するのは今です。ぜひ学年の先生や教務主任の先生と話題にいただき、教育課程編成時に生かせるように改善案を作成しておくか、メモだけでも残しておくことで次年度のよりよいスタートにつながります。一人でも多くの子どもたちの幸せにつながるようお願いいたします。」(学校教育課通信 179号)

たいへんお忙しい時期とは思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

この時のメモ・週案を活用しましょう

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化(整理イメージ)

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

要録や各園からの引き継ぎ情報は、その子を認めたり励ましたりする手がかりになるかと思えます。入学してからの情報交換も幼小連携の取組の一つですね。

引用：中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
幼児教育部会（第10回）配付資料（H28.10.31）



発達や学びをつなぐスタートカリキュラム (文部科学省)

スタートカリキュラムスタートブック (文部科学省)

幼保小の架け橋プログラム (文部科学省)